



文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム
IB 教育アドバイザー 好事例共有シリーズ



2026年7月6日

さいたま市立大宮国際中等教育学校

齋藤 優気

進路と奨学金に係る指導事例
Case of Career Paths and Scholarships

1. 進路指導と在学中のアプローチ概要

本校では、早期からDP生一人ひとりに寄り添った進路指導を行っている。以下にその特徴をあげる。

①First chance/ Second chance

志望する大学の志望理由書を作成して、本校DP担当教員と模擬面接を行い、フィードバックをもらう活動を First chance/ Second chance と銘打って実施している。その目的は、早い段階で将来への意識を向けさせる動機付けとDPの学習や課題活動などを俯瞰し、見通しをもたせることである。First chance は高等学校2年次6月上旬に実施し第1志望の大学について志望理由書を作成させる。Second chance は高等学校2年次12月上旬に実施し、第1志望以外の大学について志望理由書を作成させる。Second chance で第1志望以外の大学について志望理由書を作成させるねらいは、進路に関する視野を広げるためである。

【First chance の様子】



②手厚いサポート体制

DP生1人に対し、2名のDP授業担当教員が専属としてつき進路指導を担当する。授業の様子やDPの学びを継続的に振り返ることができ、生徒に寄り添った進路指導の基盤となっている。学級担任とDP授業担当教員が、生徒の学習状況や進路希望を定期的に共有し、それぞれの視点から助言を行うことで、複層的な進路指導を実施している。

③生徒情報の定期的な共有

DP担当教員だけの会議を2週間に1回の頻度で実施している。この会議において、DP生全員の学びの様子を丁寧に共有することを行っている。

2. 海外進学における奨学金制度

海外大学進学における多額の金銭的負担を軽減するため、本校の生徒は様々な奨学金を活用している。以下は、本校生徒が応募している主な奨学金リストと奨学金取得も含めたキャリア活動のながれである。奨学金は1つを選択するのではなく、複数の奨学金へ応募・利用している場合が多い。海外大学や奨学金を提供している財団は成績だけでなく、社会貢献の程度やキャリアプランに具体性・夢があるかを評価しているため、中学段階では様々な活動に積極的に参加して関心や経験の幅を広げ、高校段階ではそれらを自らの進路目標へと収束・具体化していくことが極めて重要である。本校では探究活動やキャリアプラン作成に力を入れており、興味を広げる環境が整っている。また、自身のキャリアを現実的に考えていく高校段階では、保護者との経済的な相談を含めた話し合いが欠かせない。国内大学併願を希望する保護者も多いため、海外大学への進学が実現しなかった場合も見据えた進路選択を並行して考えさせることで、安心して海外大に挑戦できる素地を整えている。

- | | |
|---|--|
| ☐ JASSO 海外留学支援制度（学部学位取得型） | ☐ 柳井正財団海外奨学金プログラム |
| ☐ 笹川平和財団 笹川奨学金 | ☐ 公益財団法人グルー・バンククロフト基金 |
| ☐ リクルートスカラシップ学術部門 | ☐ 埼玉発世界行き奨学金 |
| ☐ その他、各大学・企業・自治体を用意している奨学金 | |

学年 / 時期	生徒の主な取り組みとスケジュール
中学 3 年（3 年次）	・ 海外大学進学を考え始める ・ 費用や安全性について家庭で話し合い、保護者の同意を得る ・ 課外活動や興味の持てる分野の活動への積極的な参加
高校 1・2 年（4・5 年次）	・ 国内大学および海外大学、活用できる奨学金制度についての調査 ・ 出願に必要な英語能力試験（IELTS・TOEFL など）の準備・受験 ・ 探究活動の本格化 ・ SAT などの外部試験対策
高校 3 年（6 年次） 4 月	・ 海外大学受験の意思を固め、受験校・志望学部を最終決定する ・ 必要となる評定（GPA）や提出成績の確認
高校 3 年（6 年次） 5 月～8 月	・ 各財団等の給付型奨学金への応募準備、および書類（エッセイなど）の作成 ・ 8 月：Mock 試験 予測点発表
高校 3 年（6 年次） 10 月	・ 奨学金の応募締切、および奨学金の合格通知（10 月～3 月にかけて順次） ・ 大学への出願・受験開始（10 月～12 月）Common Application 等の活用
高校 3 年（6 年次） 11 月	・ 大学への出願・受験の継続（～翌 3 月頃まで国により異なる） ・ 11 月：DP 最終試験
高校 3 年（6 年次） 12 月～卒業後	・ 12 月中旬：DP 最終試験の結果発表 ・ 卒業生や教員等の支援を受けながら進学手続きを進める